

# に だい め 二代目 朝潮太郎 (1879~1961)



力士。大相撲大関。新居郡玉津村(現、西条市)出身。本名は坪井長太郎。20歳の時には、体重の3倍近い荷物を持ち上げる怪力で、初代朝汐太郎(8代目佐野山親方)に見込まれ、弟子入りした。

明治34(1901)年5月場所で初土俵を踏み、四股名は朝嵐を名乗った。明治40(1907)年1月場所で新入幕、明治42(1909)年1月場所で小結と順調に昇進し、明治43(1910)年6月場所で関脇に昇進したのを機に、師匠の名である朝汐太郎を襲名した。明治45(1912)年5月場所より「朝汐」を「朝潮」に改め、大正4(1915)年1月場所で、大関昇進を果たした。身長176cm、体重113kgという筋肉質の体で、右を差せば無類の強さを発揮し、幕内26場所(内10場所大関) 98勝64敗25分7預りという戦績を残した。

大正8(1919)年5月場所を最後に引退し、第3代高砂浦五郎として、高砂部屋で男女ノ川(第34代横綱)や前田山(第39代横綱)、東富士(第40代横綱)といった名力士を数多く育てた。昭和17(1942)年に、高砂部屋を弟子の前田山に譲り、昭和36(1961)年、82歳で逝去した。

## 略歴

- |                  |  |
|------------------|--|
| 明治12(1879)年4月19日 | 新居郡玉津村に生まれる。                               |
| 明治34(1901)年5月    | 初代朝汐太郎に弟子入りし、「朝嵐」を名乗る。                     |
| 明治40(1907)年1月    | 入幕   |
| 明治43(1910)年6月    | 関脇に昇進。「朝汐太郎」を襲名                            |
| 明治45(1912)年5月    | 「朝汐」を「朝潮」に改める。                             |
| 大正4(1915)年1月     | 大関に昇進                                      |
| 大正8(1919)年5月     | 5月場所をもって引退                                 |
| 大正9(1920)年1月     | 第3代高砂浦五郎を襲名                                |
| 昭和3(1928)年       | 八幡浜で地方巡業を行い、萩森金松(後の前田山英五郎)と出会い、高砂部屋に入門させる。 |
| 昭和17(1942)年1月1日  | 年寄「高砂」の名跡を前田山英五郎に譲る。                       |
| 昭和36(1961)年4月30日 | 82歳で永眠                                     |

### 〈関連図書〉

- ・『西條人物列伝』 西條郷土史研究会 1986年
- ・愛媛県史編さん委員会『愛媛県史 人物』 愛媛県 1989年
- ・新居浜の相撲物語編集委員会『新居浜の相撲物語』 新居浜市教育委員会 1990年
- ・水野尚文・京須利敏『大相撲力士名鑑 平成7年版』 共同通信社 1995年

〈主な収蔵資料〉…(P234, 175)

〈ゆかりのある場所〉…(P319, 222)

〈関連施設〉…相撲博物館

〒130-0015 東京都墨田区横綱1-3-28(国技館1階) TEL: 03-3622-0366